
赤潮情報(定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
 令和4年10月19日

鹿児島湾 赤潮情報 No.8

[1] 10月18日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

通常検鏡及び濃縮検鏡（調査定点③，⑪）で有害種は確認されませんでした。
 珪藻類は全域で少ない状況でした。

(2) 海況

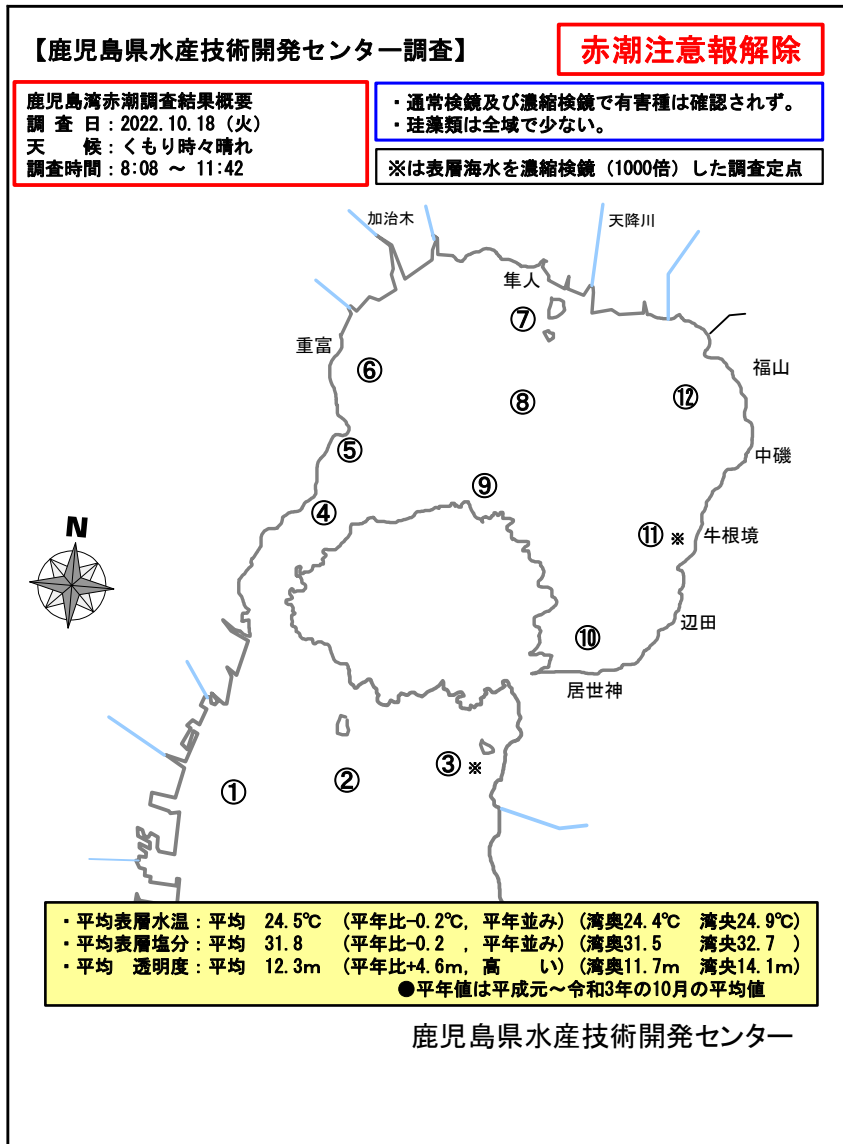
平年値と比べ、表層水温は平年並みで、湾奥部で24.0～24.6℃、湾中部で24.7～25.1℃、塩分は平年並みで31.0～33.0、透明度は高く10.0～14.5mとなっています。

水温：平均 24.5℃ 湾奥部 24.4℃ 湾中部 24.9℃

塩分：平均 31.8 湾奥部 31.5 湾中部 32.7

透明度：平均 12.3m 湾奥部 11.7m 湾中部 14.1m

（平年値は平成元年～令和3年の10月の平均値）



[2] 今後の赤潮発生の予想

鹿児島湾では、10月4日にシャットネラ マリーナの赤潮注意報を発出していましたが、昨日の調査において、全ての調査定点で確認されなかったことから、赤潮注意報（シャットネラ マリーナ）は解除します。

なお、各漁協・養殖業者におかれましては、今後も有害赤潮プランクトンの早期発見のため、定期的な検鏡を継続するなど、監視をお願いします。

※シャットネラ マリーナの特徴

- ・ 適水温23～26℃，適塩分30以下
- ・ 魚毒性が強く、致死細胞密度はブリ及びカンパチで、約2,000細胞/mL

（次回調査は11月上旬を予定）

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

